

日医発 001672 号(総研)

2022 年 12 月 5 日

日本医学健康管理評価協議会
構成団体 御中

日本医師会常任理事 (健診担当)
宮川 政昭



HASTOS 運用に係る実証試験について (協力依頼)

平素は弊会会務にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本医師会総合政策研究機構では、健診実施機関における健診標準フォーマットの運用の増加に伴い、変換業務を円滑に実施するため「健診結果データ標準化共同利用センター (HASTOS)」を運用する体制の構築を進めているところです。そこで、運用におけるデータ取扱いに関する課題を把握するため、複数の医療保険者、事業者に参加いただき、以下のとおり実証試験を行うことといたします。

構成団体の皆さまにおかれましては、大変お忙しいことと存じますが、実証試験へのご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

1. 実施内容

健診実施機関が作成した CSV 形式による健診結果データを HASTOS に格納し、健診標準フォーマットに変換された健診結果データを健診実施主体等に提供する各工程の実証試験を行う。詳細は別紙「実施要綱」を参照願います。

2. 実施時期

2022 年 12 月上旬から 2023 年 1 月下旬

3. 対象者

健診実施主体：トッパングループ健保、凸版印刷、協会けんぽ、労働保健協会、メディフォン等

健診実施機関：健診実施主体と健診委託契約を締結している健診実施機関で、かつ、変換ツール (POST. ex) が導入されている施設のうち、構成団体より推薦をいただいた施設を対象とする。

4. 費用

HASTOS における健診結果データの変換、提供における費用は無償とする。

以上